

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)	◎	＊	＊
	○	一般小売店 [珈琲] (経営者)	・欧米からの観光客による、直営店への来客数が増加傾向にある。1人当たりの注文数も多く、客単価を押し上げている。
	○	一般小売店 [衣服] (経営者)	・ようやく秋らしい季節になりつつある。季節の変わり目には、洋服を買いに来る客が増えるため、売上の増加が見込まれる。
	○	一般小売店 [化粧品] (経営者)	・ラグジュアリー系化粧品は好調を維持する見込みであり、特にクリスマス商戦でのフレグランスのギフト需要は確実に伸びる。昨今の人気商材は男女兼用の柔らかい香りが主流であり、日本人にもマッチした商材が多く売れるため、1万円から3万円のギフトに最適である。また、観光客が集まる地域の店舗では、インバウンド需要も中国を中心に伸びることから、先行きには期待できる。
	○	百貨店 (サービス担当)	・前年はプロ野球の優勝セールで売上が伸びたが、今年もレストランや店舗のリニューアル効果のほか、人気の催事の充実による売上の増加を期待している。
	○	百貨店 (販促担当)	・今冬は比較的寒くなる予想であり、衣食住関連や季節商材の動きが期待できそうである。また、選挙の秋となることで、経済対策の強化も期待される。
	○	百貨店 (マネージャー)	・全体としては、来客数や売上などの主要指標は前年を上回っており、景気は回復傾向にあるとみられる。その一方、3か月前からは前年比での伸びが明らかに鈍化している。主な要因はインバウンドの減少であり、この数か月で地震や台風などの災害リスクが目玉され、来店者の減少につながっている。ただし、この影響は一時的なものであり、インバウンド関連の企業も、今月末か来月中には数か月前の状況に戻ると予想しており、数か月先には景気全体が上向くとの見方が多い。
	○	百貨店 (特選品担当)	・中国の国慶節をきっかけに、インバウンド市場には若干の追い風が吹くと予想される。
	○	百貨店 (売場マネージャー)	・気温の低下とともに、秋冬商材の動きが活発化すると予想される。ただし、自然災害が頻発する状況にあるため、消費への影響が懸念される。
	○	百貨店 (マネージャー)	・今月の環境が特に悪かったこともあり、クリスマスや年末需要は回復を見込んでいる。
	○	スーパー (企画)	・賃金が上昇するなど、物価の上昇を吸収するだけの環境がある。
	○	コンビニ (経営者)	・10月はイベントも多いため、好調な動きになることを期待している。
	○	衣料品専門店 (経営者)	・政権政党の新総裁の誕生で株価は下がっているが、商店街で商売をしている立場からすると、個人消費が回復することを期待している。ただし、当地域では10月に衆議院選挙があり、11月には知事選挙があるため、本格的に回復に転じるのは、来年からになりそうである。
	○	衣料品専門店 (店員)	・気温の変動もあるが、繁忙期に入るため、景気は良くなる見込みである。
	○	乗用車販売店 (支店長)	・米国大統領選挙も関係してくるが、年内は株価が順調に上昇する見込みであり、景気自体はやや良くなると予想される。ただし、来年は不透明である。
	○	その他専門店 [ドラッグストア] (店員)	・10月は最低賃金上がるほか、非正規社員に対する社会保険の適用も拡大される。年末にかけては、物価の上昇に伴う給料の底上げにも期待したい。
	○	その他小売 [インターネット通販] (オペレーター)	・新商品の発売もあるため、受注量は増加する。
○	高級レストラン (スタッフ)	・秋から冬にかけて、各種の会合が増えることを期待したい。	
○	その他飲食 [ファーストフード] (店員)	・しばらくは暑い日が続いたが、気温も落ち着いてきた。日本を訪れる外国人客も増えており、今後も増え続けると予想されるため、景気は良くなる。	

○	観光型ホテル（経営者）	・10月から11月にかけては、衆議院選挙の影響が少し懸念されるものの、団体客、個人客共に、予約はまずまずの動きとなっている。
○	都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊はインバウンド需要の好調が続いており、年末年始は国内旅行客の予約も伸びている。宿泊に伴う朝食の喫食率も高く、収入の基盤となっているほか、宴会も平年並みで推移している。
○	都市型ホテル（客室担当）	・当地域は最繁忙期を迎えるが、先行予約では高単価の受注がみられる。直前での安いプランへの変更はあるものの、おおむね好調である。
○	都市型ホテル（管理担当）	・国内需要、インバウンド需要共に安定して増えているため、宿泊稼働率と単価の上昇が期待できる。
○	都市型ホテル（客室担当）	・秋の観光シーズンを迎え、インバウンドを含む団体旅行の受注が順調に推移している。
○	都市型ホテル（販売促進担当）	・レストランの動きから判断すると、今後は良くなることが予想される。ふだんはディナータイムの営業はないが、8月と9月は毎週金曜日にビアホールのイベントを開催し、ほぼ満席に近い大盛況となった。10月の連休のランチbuffetも予約は順調に入っているため、先行きは上向きそうである。
○	都市型ホテル（客室担当）	・客室稼働率や販売価格が上向き見込みである。
○	旅行代理店（役員）	・暑さも徐々に和らいで行楽シーズンとなるため、旅行意欲の高まりが期待できる。秋の味覚や温泉、紅葉のほか、ハロウィンやクリスマスといったイベントを絡めた需要も増える予想される。
○	通信会社（経営者）	・円高の進行による、輸入物価の低下に期待している。
○	通信会社（営業担当）	・年末にかけて引っ越しが増えるため、販売量は増える傾向となる。
○	遊園地（経営者）	・酷暑により、レジャー関係での外出や支出の減少につながったため、季節が良くなれば、その反動が出てくることを期待している。
○	その他住宅 [情報誌]（編集者）	・企業業績は堅調であり、未来への投資意欲も一定の高いレベルにある。また、生産性の向上への取組も加速するなかで、経済成長への流れができてきた。
□	一般小売店 [時計]（経営者）	・能登半島は地震に続き、想定外の豪雨に見舞われた。客との会話では必ずこの話題が出ており、ほとんどの客の雰囲気も暗くなっている。今後も明るい話題がない限り、景気が良くなることはない。
□	一般小売店 [花]（経営者）	・気候要因により商品の仕入価格などが上がっている。今後も様々な物の値上げが見込まれるため、景気回復の兆しはない。
□	一般小売店 [鮮魚]（営業担当）	・受注の予定も少なく、全体的な見通しとしては期待できない。
□	一般小売店 [野菜]（店長）	・政権政党の総裁選後、衆議院の解散総選挙となれば情勢が変わってくるが、物価の変動による影響も大きい。
□	一般小売店 [呉服]（店員）	・振り袖でさえも買い控えがみられるなど、客は今後の生活防衛を意識している。
□	一般小売店 [菓子]（営業担当）	・今後は余り行事がないが、気候が良くなるため、人の動きも活発となり、少し販売量が増えることを期待している。
□	百貨店（売場主任）	・高額品の購入客など、特定の客の売上は継続的に伸びているが、多数を占める一般客の売上の減少は補えず、売上のコントロールが困難となっている。
□	百貨店（企画担当）	・急激な円安が影響し、この数か月はインバウンドの売上が大きく伸びていたが、今の為替相場が続くようであれば、前年並みの売上に減ると予想される。国内客の売上については、株価の動きにも影響される。
□	百貨店（企画担当）	・地方都市では現時点が良くないだけでなく、徐々に悪くなっている。今後大きな落ち込みはないものの、少なくとも上昇の動きは見込めない。
□	百貨店（管理担当）	・食品価格の上昇といった懸念材料はあるものの、賃上げ気運は続きそうな状況であるため、緩やかな景気の拡大が続くことを期待したい。

□	百貨店（マネージャー）	・インバウンド需要の鈍化や異常気象の影響は、今後も続く予想されるが、気温の低下に伴うファッション関連の需要も出てくるため、結果的に大きな変化はないと考えられる。一方、新総理の下での今後の景気展望については、現時点で不透明である。
□	百貨店（販売推進担当）	・政権政党の新総裁が誕生し、株価や為替、物価などの推移は読みにくくなっている。物価の上昇に対する給料の増額が求められるなか、冬のボーナスが増えるかどうか、今後の景気動向を大きく左右する。
□	百貨店（外商担当）	・為替や株価を含む経済環境に大きな変化がない限り、現在の動きが続く。
□	百貨店（商品担当）	・先行き不透明な部分があるほか、今秋からは各種商品の値上げが予定されるなか、生活防衛意識が少し強まる可能性がある。
□	百貨店（マネージャー）	・インバウンド需要については、これまで円安効果やブランド品の値上げ前の駆け込み購入がみられたが、今後も増加の動きが期待できそうである。富裕層にも同様に期待できそうな一方で、大きなウェイトを占める中間層は、コストパフォーマンスを重視した、慎重な選択消費が続くと予想される。
□	百貨店（売場マネージャー）	・食料品などの物価上昇で、消費マインドが上向いてこない。食料品や化粧品といった消耗品はまだ売れているが、婦人服や紳士、子供服などの動きが悪い。また、為替が円高傾向にあることで、インバウンドの売上も悪化している。
□	百貨店（外商担当）	・高額品の需要については、今後も旺盛な状況が続くと予想される。また、気温の低下に伴って、衣料品の売上も増える見込みである。
□	百貨店（宣伝担当）	・インバウンドの購入単価の低下傾向は、今後も続く予想される。気候面でも、ここ数年と同様に秋が短くなれば、ファッション関連の消費意欲が下がってクリアランスセール待ちとなるため、しばらくは厳しい状態が続く。
□	スーパー（店長）	・コロナ禍の収束後は安定した状況が続いているが、クリスマス商材やおせちの予約競争が激化するなか、厳しい状況に変化はないと予想される。
□	スーパー（店長）	・直近で景気の変化はないが、円高効果や賃金の上昇効果が出てくれば、景気は上向きになると予想される。
□	スーパー（店長）	・客の購買意欲には変化がない。
□	スーパー（店員）	・今後も暑さが続いた場合の、生産地への影響は読めないが、これ以上価格が上がれば非常に厳しくなる。
□	スーパー（企画担当）	・競合店の出店もないなど、外部環境に変化はないため、景気は大きく変わらないと予想される。
□	スーパー（経理担当）	・首相の交代や衆議院総選挙、米国大統領選挙といった政治的な話題が増えるが、身の回りでは、新米や食料品などの10月の値上げラッシュ、電気代やガス代の補助縮小など、物価の上昇が意識される局面が続いている。今後は生活防衛意識の高まりによる、ボーナス商戦や年末商戦への悪影響が懸念される。
□	スーパー（販売促進担当）	・景況感に大きな変化はなく、商品価格の上昇による買い控えがしばらく続く。
□	スーパー（企画）	・10月からは最低賃金が約5%上昇するが、その影響で物価の上昇が更に進むため、景気回復の期待は薄い。
□	コンビニ（経営者）	・中食や雑貨、日用品はレパートリーが出尽くしているため、売上がなかなか伸びない。今後はおでんなどの季節商材に力を入れる方向で進めていく。
□	コンビニ（店長）	・商品の単価が下がっているため、他の商品とのまとめ買いを期待しているが、なかなかあと1品には手を出してくれない。
□	コンビニ（店員）	・主婦層は物価の上昇を嘆いているが、コンビニの商品も全体で2割ほど値上がりしている。
□	コンビニ（店員）	・良くも悪くもならず、現状維持が続くと予想される。
□	コンビニ（店員）	・今後は連休もないため、大きな変化はない。
□	衣料品専門店（店長）	・ようやく秋の気配が出てきたが、新内閣の誕生に伴う株価の下落といった不確定要素もあり、景気の見極めにはまだ時間を要する。

<input type="checkbox"/>	家電量販店（経営者）	・補助金の効果が一定期間は続くため、景気は大きく変わらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・メーカーによる車の生産は若干増えているが、受注量は伸び悩んでいる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・新車価格の上昇に伴い、中古価格も上がるが、客の購買力が伴っていないため、しばらくは販売不振が続く。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（役員）	・ここ数か月の販売実績は決して悪くないものの、一部の人気車種の販売による、一過性の好調となる可能性がある。現状は社会の高齢化や、若年層による自動車離れにより、新車の販売台数には大きな伸びが期待できない。自動運転への対応や、電気自動車の販売も遅れるなか、大きな改善は期待しにくい。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・上向く材料がないため、横ばいと予想している。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔宝石〕（経営者）	・これまでの円安の影響もあるが、物価の上昇が続いている。上昇が止まらない限り、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・食品関連や消耗品の価格は上昇しているため、必要な物と必要のない物の選別が進んでいる。国政選挙や米国大統領選挙も控えているが、大きな景況感の変化はない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・一時は円高の兆しがみられたものの、その後は目立った動きもなく、物価の上昇だけが進む状況が予想される。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔医薬品〕（管理担当）	・夏物商材やスキンケア用品は順調な動きであったが、気温の低下により秋冬商材へシフトしていくなかで、全体としては減少傾向となっている。食品価格の上昇も続いているため、大きな上昇要因は見当たらない。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕（総括）	・衆議院の解散総選挙などで先行きが不安なほか、災害が続いていることで、消費意欲も低下する。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（企画）	・客単価は継続的に上昇しているが、国内客の旅行需要がインバウンドよりも鈍い状態が続いている。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・近隣の店舗が何件か閉店となった。物価の上昇などで消費者の財布のひもが固くなっている。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・10月は最低賃金が上がるものの、更なる物価の上昇も予定されており、飲食店の利用が増える直接的な要因にはならない。売上は横ばいか減少が予想されるなか、仕入価格や賃金の上昇に加え、今後は人材の不足も重なる。どの問題も先がみえず、体力勝負のような状況であり、飲食店はまだ景気の回復には程遠い。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（店主）	・店側の発想や対応の転換が遅れているほか、異常気象などによる状況の変化が予想される。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（企画）	・円安傾向にストップが掛かり、輸入価格の上昇は一段落したが、消費量の多い米の価格が高騰しており、業績に大きな影を落としている。また、人材の採用が進まないなか、人件費の上昇傾向に歯止めがかからず、業績を圧迫している。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（店員）	・来客数の減少に加えて、単価も下がっており、今後もこの状況が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・最低賃金が上がった一方、住宅ローンや光熱費の負担はそれ以上に増えるため、生活に余裕はない。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（経営者）	・能登半島での豪雨や世界的な政情不安など、世の中全体が落ち着いていない。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（経営者）	・大きな災害等がなければ大丈夫であるが、現状が変わるほどの材料はない。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（経営者）	・全体的な可処分所得が増えなければ、旅行に回す費用が出てこないため、景気が良くなることを願っている。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（総務担当）	・近隣に商業ビルが2棟オープンし、今後もホテルや飲食店の開業が予定されているため、特にレストランの回復が難しくなると予想される。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（店長）	・市場全体の変化や、コロナ禍からのリベンジ需要の反動、旅行代金の急激な高騰、インバウンドの増加に伴う観光地の混雑、長引く酷暑による旅行意欲の低下に加え、自然災害の頻発による旅行中の事故といった不安材料が重なり、改善の見込みがない。

□	旅行代理店（支店長）	・海外旅行の回復が進まない。高齢者層を始め、若年層も海外旅行に行くモチベーションが低く、パスポートの所持率も低いままである。年内に大きなイベントもないため、現状からの変化は期待できない。
□	タクシー運転手	・今までは気候の影響もあり、タクシーに乗った方が楽という客が多かったが、今後はタクシーでどこかに行きたいという客が増えてくる。
□	タクシー運転手	・暑さが少しずつ落ち着くことで、タクシーの利用率は下がる。景気全体としても、上向く材料が見当たらない。
□	通信会社（社員）	・キャリアは他社からの乗換え客の獲得に集中しており、施策を講じているものの、他社には負けている。年末まで店頭を継続的に強化できるかが課題であるが、キャリアの支援策にも左右される。
□	通信会社（役員）	・厳しい事業環境が続くと予想される。人件費の高騰や物価の上昇による影響も大きい。
□	テーマパーク（職員）	・政権政党の総裁が誰になるかにより、今後の経済政策は大きく変わる。雇用が安定して景気が上向いたのは、この10年間では一度だけであったため、普通に考えればその路線を引き継ぐしかない。ただし、その主張をしているのは1人だけという状況である。
□	観光名所（企画担当）	・来場者数に大きな変化はないが、外国人の来場者数については、このところ中国本土からの客が増え始めている。
□	競輪場（職員）	・依然として物価の上昇や株価の乱高下が続くなか、実質賃金は上がっていない。新政権がどのような景気対策を打ち出すかにもよるが、正直なところ分からない。
□	競艇場（職員）	・全国の売上は横ばいが続いている。コロナ禍の期間中に跳ね上がった売上には、やや陰りがみられるものの、依然として高水準を維持している。特にインターネット投票が好調で、安定した売上を残しているため、当面は今の状態が続くと予想される。
□	その他レジャー施設 [イベントホール]（職員）	・催事の開催は順調で売上は安定しているが、最低賃金の改定による人件費の増加で、委託費の見直しが必要となっている。その一方、販売価格にはすぐに転嫁できず、固定費の増加だけが進む形となる。
□	その他レジャー施設 [飲食・物販系滞在型施設]（企画担当）	・インバウンドは堅調な動きが予想されるが、バス運転士の残業規制の影響か、団体バスでの来場が減少傾向にある。インバウンドの好調が団体バスの減少で相殺される形となり、全体としては変わらない。
□	その他レジャー施設 [球場]（経理担当）	・プロ野球シーズンは終了するが、11月から12月は多くのコンサートが開催されるため、例年並みの集客を期待している。
□	その他レジャー [スポーツ施設]（業務担当）	・利用者数にもよるが、10月からは更なる経費の増加が見込まれる。さらに、気象状況次第でイベントが中止となれば、現状の維持も難しい。
□	その他住宅 [住宅設備]（営業担当）	・政権政党の次の総裁が誰になるかは、一般の消費者が関与できるものではないが、誰が就任しても国民の生活の向上に目を向けてほしい。
▲	一般小売店 [衣服]（経営者）	・今冬の気候がどうなるかは分からないが、年末になっても冬物衣料の動きは悪いと予想される。当店は年配客が多いが、毎月の収入から衣料品に回す予算がかなり減っている。
▲	百貨店（売場主任）	・これから円高、株安傾向が進んだ場合、絶好調である都心店のインバウンド需要が減少するため、トータルでは景気がやや後退する。
▲	百貨店（企画担当）	・10月も気温が高い状態が予想されるなか、主力のファッション関連の動向が不透明である。免税売上も再び上向くとは予想しにくい。
▲	百貨店（商品担当）	・新政権の経済政策次第であるが、仮に金融引締め策が実施されれば、株価の下落が予想され、好調であった高額品の売上にも影響が出る。
▲	スーパー（経営者）	・最低賃金の上昇のほか、原材料や資材価格、光熱費の高騰により、零細企業も商品の販売価格に転嫁せざるを得ないため、今後の販売量への影響が懸念される。
▲	スーパー（企画）	・当面、食品価格は高い状態が続くため、消費者の財布のひもは固くなっていく。

	▲	スーパー（社員）	・長期にわたって食品価格の上昇が続いており、客の購買力が徐々に低下している。競合店も増加しつつあるため、当面は厳しい状況が続くと予想される。
	▲	スーパー（開発担当）	・10月には物価が大きく上昇するが、賃金の上昇は見込めない。
	▲	コンビニ（経営者）	・円安にも歯止めがかかったことで、インバウンド需要がやや減少する可能性があり、来客数も少し減少することが予想される。
	▲	コンビニ（店員）	・当店の客には高齢者が多いが、年金の受給金額が上がらない一方、物価が上昇している。節約のため買物に行けないといわれるため、10月の値上げ以降は売上が厳しくなる。
	▲	家電量販店（店員）	・景気が回復しなければ、業況が悪くなるのは当たり前であり、新政権での景気回復に向けた取組が求められる。
	▲	家電量販店（人事担当）	・今年は秋が短いほか、暖冬となる可能性が高いため、暖房器具などの売行きが不安である。
	▲	乗用車販売店（経営者）	・諸物価の上昇が、家計に少しずつ悪影響を与えている。
	▲	住関連専門店（店長）	・施工工事が必要な商品を扱っているが、現場作業の遅れから、納品や回収が遅れるケースが増えてきた。また、流通面でも遅延等のトラブルや、ストレスの掛かる場面が増えてきた。産業基盤全体の弱体化で、コストや時間が奪われるケースが増えている。
	▲	住関連専門店（店員）	・様々な物の値上げが止まらない。
	▲	旅行代理店（従業員）	・政治が不安定なこともあり、先行きはやや悪くなる。
	▲	通信会社（社員）	・一部上場企業の給与の回復状況は顕著であるが、地方経済への波及は遅い。
	▲	ゴルフ場（支配人）	・客の予約状況は今一つ良くないため、今よりもやや悪くなる。
	▲	美容室（店員）	・暑さの影響か、年配客の来店サイクルが伸びたり、来店が困難になったりする状況から、秋以降に上向きとなる期待は薄い。
	▲	その他サービス [学習塾]（スタッフ）	・良くなる要素が見当たらない。
	▲	その他サービス [マッサージ]（スタッフ）	・オイルでのマッサージで服を脱ぐため、寒い時期は来客数が減少する。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・価格転嫁が後手に回っているため、利益の圧迫が続く。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・建設費の上昇が止まらない。特に電気設備業者が人手不足であり、スケジュールどおりに受注可能なゼネコンを探すのも困難な状況である。販売価格に建設費の上昇分を転嫁すると、新築マンション価格が上昇するため、今後は郊外物件の売行きが悪化する。
	▲	住宅販売会社（総務担当）	・物価が上昇しているため、全体的に賃金が上がらなければ、購入意欲の低下につながる。
	▲	その他住宅投資の動向を把握できる者 [不動産仲介]（経営者）	・金融機関による融資の審査基準が厳しくなるなど、景気は悪くなっている。
	▲	その他住宅 [展示場]（従業員）	・建築単価の上昇による消費マインドの低下傾向は、当面続くことが予想される。
	×	一般小売店 [花]（店員）	・日用品の値上げが続き、原価も上がっている影響で、利益率が低下している。その一方で景気が良くなる要因は見当たらないため、景気は悪くなると予想される。
	×	衣料品専門店（経営者）	・客が洋服を買い控えている。新しい服を着ていく場所もなく、古い服で十分という意識があるため、購入が増えない。
	×	家電量販店（店員）	・補助金効果はあるものの、期間が終わると低迷するため、通期ではまだ改善の見通しが立たない。
	×	家電量販店（企画担当）	・残暑の影響で、暖房商品の購入が見込めない。新内閣発足による景気後退の懸念があるため、起爆剤となる商品が出ない限り、しばらくは厳しい状況が続く。
	×	その他飲食 [ジャズバー]（店員）	・値上げが続いているため、先行きの見通しは厳しい。
企業動向関連 (近畿)	◎	木材木製品製造業（経営者）	・為替の円安問題は少し改善しつつあるため、今後の更なる円高の進行に期待したい。夏は消費が落ちる傾向にあるため、現状の売上は芳しくないが、冬に向けて売上を伸ばす計画を立てている。

◎	化学工業（企画担当）	・酷暑の時期を過ぎ、年末年始の食品の最需要期に入るため、先行きは良くなる。
○	繊維工業（総務担当）	・円高傾向により、輸入品の仕入コストの減少や、原材料価格の安定化が期待される。
○	プラスチック製品製造業（経営者）	・インバウンドを狙った商品開発の案件が入ってきている。起死回生の案件とはならないが、多少の売上の増加につながるため、活気が出てきている。
○	金属製品製造業（経営者）	・受注の内示状況には、量的な回復感が出てきている。
○	金属製品製造業（営業担当）	・注文の増加につながる話が、減少に関する話よりも多くなっている。
○	電気機械器具製造業（営業担当）	・直近の受注はないが、12月頃の受注が大幅に増加している。
○	輸送用機械器具製造業（経営者）	・2025年度モデルの発表時期となるため、やや期待できる。
○	広告代理店（営業担当）	・Web媒体、紙媒体共に、広告売上が前年を上回る状態が続いている。
○	広告代理店（営業担当）	・前月末から、10月以降の広告の引き合いが増えている。
□	食料品製造業（従業員）	・製品の値上げの影響で、小売店での売場面積が少し減ったと感じるが、業務用商品は大きな変化もなく動いており、現状維持が続いている。
□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・取引先からは、注文が増えそうな情報がない。
□	出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・年末年始にかけてのイベントの問合せも入っており、今後も好調な推移が予想される。
□	化学工業（経営者）	・一時期よりも受注量は回復したが、力強さはないため、しばらく景気に変化はない。
□	化学工業（管理担当）	・オートバイ、自動車向けの電装関連の出荷量は、減少したままの状況が続くと予想している。
□	窯業・土石製品製造業（管理担当）	・賃上げの傾向は続いているものの、今後の継続性が注目される。物価の上昇が続くなか、海外情勢も不安定なため、今後は一進一退の状況となる。
□	一般機械器具製造業（経営者）	・取引先の投資姿勢が消極的であり、大型の引き合いが少なくなっている。
□	電気機械器具製造業（宣伝担当）	・円高傾向が進んでいるとはいえ、まだ140円台と円安水準は継続しているため、まだ先行きは不透明である。
□	電気機械器具製造業（営業担当）	・あらゆる商品の価格が上がり、材料費も上がっているため大変である。
□	建設業（経営者）	・相談案件が増えても、マンパワーが足りずに対応できない恐れがあるため、慎重に受注を検討せざるを得ない。
□	建設業（経営者）	・社員の残業や休日出勤などの課題もあり、工期の厳しい作業所では対応に苦慮している。早期に発注しても、工期の長い作業所では建設資材の高騰や不安定な納期の影響を受けるため、先行きが心配される。
□	輸送業（経営者）	・来年1月から新規の仕事が始まるが、不採算の仕事を断るため、全体的な仕事量は変わらない。経費の増加も一段落したが、これまでのマイナスを補うためには、もう少し時間が掛かる。
□	輸送業（営業担当）	・売上の伸びる要素がない。
□	輸送業（商品管理担当）	・例年、10月から12月は売上が落ちる。
□	通信業（管理担当）	・回復する要素も、その兆しも見当たらない。
□	金融業（営業担当）	・内閣改造が行われても、景気が良くなるとは考えられない。
□	不動産業（営業担当）	・今後も短期金利の上昇が予想されるなか、企業の借入金利も上がるため、景気は悪くなる。
□	経営コンサルタント	・商店街関係者と話していると、以前のようにインバウンドが多くの商店街を訪れる期待はあるが、大部分の関係者はそれに否定的である。どこでも爆買いするようなインバウンドはもはや少数であり、お金を使う場所は限られる。結果として、都市部の周辺地域や、地方の商店街を巻き込んだ景気の回復にはつながりにくい。

	□	司法書士	・10月からの郵便料金の値上げを含め、連日の値上げのニュースで節約志向が強まっているため、仕事の量が増えることはなく、現状維持が予想される。
	□	その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・これまでと同様に大きな変化はないため、状況は変わらない。
	□	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・今後は急速に秋、冬への季節の変化が進むが、一般家庭にとって、米を含む食品の値上げは生活に直結する問題である。
	□	その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）	・日用雑貨の需要は、人口の伸び悩みから厳しくなる傾向にある。インバウンドの需要効果や減税効果も特にはみられない。
	▲	食料品製造業（営業担当）	・10月以降はほとんどの商品が値上げとなるため、消費者の財布のひもは更に固くなる。
	▲	その他製造業〔履物〕（団体職員）	・明るい兆しがない。
	▲	建設業（経営者）	・暑さが落ち着き、行楽シーズンに入ると、住宅に向けられる予算が減少する。
	▲	その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（営業担当）	・総理大臣が変わるが、期待はできない。
	▲	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・値上げが落ち着くまでは良くならない。
	×	繊維工業（総務担当）	・消費者を取り巻く生活費の上昇により、購買意欲の低下につながっているほか、ローンやクレジットの審査が通らないケースも増えている。
	×	輸送業（営業担当）	・安価な通販の荷物に重点を置いた戦略が、大失敗となりつつある。
	×	金融業〔投資運用業〕（代表）	・景気の判断が、政府と国民で大きくかい離している。中小零細企業の倒産件数の増加が顕著なほか、貧富の差もますます広がっている。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・物価上昇への有効な対策が講じられていない。
雇用 関連 (近畿)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（管理担当）	・不安要素は多々あるが、大阪・関西万博の開催に向けて良くなると予想される。
	○	人材派遣会社（役員）	・大阪・関西万博関連の求人も本格的に動き出しており、求職者の動きも活性化してくることが予想される。
	○	職業安定所（職員）	・地域の求人が緩やかに増える一方、求職者は減少している。事業所への訪問では、人手不足問題のほか、固定費や人件費の増加分を価格転嫁できず、利益の圧迫に関する声もあるが、全体としては改善傾向が予想される。
	○	民間職業紹介機関（営業担当）	・年末を迎えるほか、大阪・関西万博関連の需要もあるため、少しずつ景気は回復していく。
	□	人材派遣会社（支店長）	・このまま下半期も今の状況が続くと予想される。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・企業の売上や利益が改善しない限り、雇用情勢の改善は見込めない。ただし、後継者への事業承継を検討している企業など、雇用を増やさざるを得ない企業も一定数は存在する。
	□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・政権政党の総裁選、米国大統領選挙と、景気に影響を与える大きなイベントが控えている。その結果が出るまでは、大きな動きはないと予想される。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・関西企業のプロモーション費用については、今後3か月で大きな変化はない。
	□	職業安定所（職員）	・経営の悪化などで求人を減らす事業所と、市場の拡大などで求人を増やす事業所の2極化がみられるが、全体として求人数に大きな変化はないと予想される。
	□	職業安定所（職員）	・8月の新規求職者数は前年比で減少となった。経済的な事情で就職を希望する70歳以上の求職者が、市場に滞留している。
	□	職業安定所（職員）	・前年比で新規求人数は減少となっている。どの事業所も人手不足であるが、募集をしても応募がないという声が多い。また、以前と比較して観光需要が落ち着いたことで、観光サービス業を中心に募集が減っている。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	・業界によっては人手不足の状況が続くなか、景気は良くも悪くもならない。

□	学校 [大学] (就職担当)	・企業の新卒採用意欲は旺盛であるが、全体的な賃金の上昇にはつなげていない。
□	その他雇用の動向を把握できる者	・今のところ景気の好材料はないものの、大型倒産といった悪い材料もない。
▲	人材派遣会社 (営業担当)	・年末という季節柄、将来不安による求職活動の活発化が予想されるが、企業にとって魅力のある層とはいえない。
▲	アウトソーシング企業 (社員)	・退職者が出たことで、更に人手不足となるが、給料が上がるわけでもなく、仕事だけが増える。
▲	民間職業紹介機関 (職員)	・求人に対し、求職者が圧倒的に少ない状況が続いている。労働条件の向上や外国人採用のハードルを下げるといった工夫により、中小企業の働き手を増やす、抜本的な改革が必要となる。
×	—	—